

幹線街路交差点角地における鉄骨造建物の施工

Construction Report on the Steel Building at the Corner Plot Intersected by Arterial Streets

奥平 毅 ^{※1} Tuyoshi Okudaira	後藤 隆之 ^{※1} Takayuki Gotou	栗原 孝彰 ^{※1} Takaaki Kurihara	臼田 典正 ^{※1} Norimasa Usuda	渡邊 健 ^{※1} Tatsuru Watanabe
		齋藤 陽介 ^{※1} Yousuke Saitou	バトボロルドイ オユン ^{※1} Batobororudoï Oyunn	

1.首都圏建築支店 ヒューリック板橋作業所

キーワード

鉄骨 タワークレーン 幹線街路角地 地下鉄 首都高速道路

概要

交通量の非常に多い幹線街路交差点の角地において鉄骨造建築物を施工したので、主に鉄骨建方、資材揚重について、その内容を報告する。敷地に余裕がなく、前面道路が交通量の非常に多い幹線街路であり、その上空を首都高速が走っているなど、道路を使用しての揚重は不可能であった。そこで、建物内へ搬入車両を入れ、揚重に必要な部分の梁スラブを後施工とし、その開口を揚重スペースとして、タワークレーンにて鉄骨建方・資材揚重を行った。それにより歩行者など第三者に与える影響が少ない資材の搬入、揚重を行うことができた。

また、鉄骨建方や資材揚重用のタワークレーン自体の解体も敷地内で行う必要があり、小さなクレーンを順次設置、最終的に人力によって解体でき、その部材をエレベーターで降ろせるクレーンを設置した。中層の建物でも超高層のタワークレーン解体と同様の手順とした。

成果

- 幹線街路交差点の角地で道路使用が不可能な中での建築施工を実現した。
- 敷地外にクレーンを設置することが不可能であったため、超高層建物と同様の解体手法を採用した。



完成写真



5節鉄骨建方